

環境対策課長の仕事宣言！ 進行管理表

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	環境保全活動を進めます〔1-1〕
②目標値	環境美化活動参加者数 (H28) 現状値 530 人⇒H28 年度末 1,200 人 (H32) 現状値 530 人⇒H32 年度末 1,800 人
③今年度の取組方針	今年度は河川清掃や空き缶拾いなどの環境美化活動や各種環境出前講座、ごみ処理施設見学会、水生生物調査などを開催するほか、各地区まちづくり推進協議会で開催する環境美化活動を支援します。
④上半期の取組内容	6月に県内一斉ふるさと美化活動を実施し230人が参加したほか、7～8月にかけて水生生物調査を鳥栖基山連携事業として実施し親子22組52人が参加しました。また、ごみ減量化やリサイクルの必要性などについて、町区や日本語学校で環境出前講座を開催、計3回に98人が参加しました。ごみ処理施設見学会には2団体計61人が施設見学しました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

環境保全の啓発、周知等を進めるための各種活動について、計画どおり推進されている。
今後も、参加者数の増加、環境保全意識の向上のための施策を展開すること。

下半期

環境対策課長の仕事宣言！ 進行管理表

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	ごみ減量化とリサイクルを進めます〔1―2〕
②目標値	市民1人1日当たりの資源物以外のごみ排出量 (H28) 現状値 908 g／人・日 ⇒ 平成28年度末 903 g／人・日 (H32) 現状値 908 g／人・日 ⇒ 平成32年度 883 g／人・日
③今年度の取組方針	資源物広場及び町区コンテナ収集、資源回収団体による回収に加えて、リサイクルの推進及び啓発を目的に古紙類の回収方法の多チャンネル化を検討するほか、これまでの電動生ごみ処理機購入補助に加えて、市民から要望があっていたディスポーザーやコンポストなどの非電動型の生ごみ処理器も補助対象に加えるよう補助金交付要綱を見直します。
④上半期の取組内容	要綱を改正し、従来の電動生ごみ処理機に加え、非電動型生ごみ処理機まで補助対象を拡大。電動12件、非電動20件の計32件の応募があり、公開抽選会を開き当選者28件を決定しました。また、地区まちづくり推進センターでの古紙回収ボックス設置に向けて、関係課と設置後の管理等について課題整理中。溶融資源化センターでの許可車両の抜き打ち検査実施について鳥栖・三養基西部環境施設組合及びみやき町、上峰町との日程調整中。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

ごみ減量化・リサイクル推進のための施策を着実に推進している。また、新たな取り組みについても積極的に検討を進めており、具体的な事業展開が期待される。

下半期

環境対策課長の仕事宣言！ 進行管理表

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	次期ごみ処理施設建設を進めます
②目標値	(H32) 次期ごみ処理施設建設着手
③今年度の取組方針	今年度は鳥栖市、みやき町、上峰町、神崎市、吉野ヶ里町の2市3町による建設協議会での協議を踏まえながら、次期ごみ処理施設建設予定地周辺の環境影響評価（アセス）に向けた配慮書及び施設整備基本計画の策定を進めます。また、周辺住民の不安解消と同施設への理解を得るため、今後の建設スケジュールや施設及び施設周辺における安全対策を含めた施設整備構想等に関する説明会を順次開催します。
④上半期の取組内容	東部ブロック次期ごみ処理施設建設協議会が4回開催され、施設の内容や用地、全体行程、組織体制のほか、2市3町の建設負担割合や管理運営負担割合などで合意に至りました。また、住民説明会を5月に安楽寺町で、8月に下野町で開催。今後のスケジュールや交通対策などを説明し、住民の不安解消と理解促進に努めました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

東部ブロック次期ごみ処理施設建設協議会の計画どおりの推進、住民説明会の実施など、確実に事業進捗がなされている。今後も、関係機関との連携を図りながら、事業の適切な進捗を行うこと。

下半期

環境対策課長の仕事宣言！ 進行管理表

環境対策課長 榎原聖二

①重点施策項目名	し尿等下水道投入施設建設を進めます
②目標値	(H32) し尿等下水道投入施設の安定稼働
③今年度の取組方針	<p>鳥栖市衛生処理場し尿処理施設は昭和60年4月の稼働から30年を経過し、これまで市直営による管理運営を行ってきました。しかし、下水道の普及により、し尿や浄化槽汚泥の処理量は年々減少し、30年を超えて施設自体の老朽化が進んでいることから、し尿等下水道投入施設による対応を行うことを市の方針として、昨年度、決定しました。</p> <p>今年度は、来年度からの建設工事着手に向けて、基本設計・実施設計を策定します。</p>
④上半期の取組内容	昨年度策定した基本計画を踏まえ、8月には実施設計業務の委託業者を指名競争入札により決定し、具体的な策定作業に着手しました。
⑤下半期の取組内容	
⑥数値目標の結果	
⑦成果と課題 (次年度に向けて)	

◇所管部長の指示

上半期

基本計画に沿って、具体的な作業に着手している。今後も、計画及び方針を踏まえた適切な事業進捗を行うこと。

下半期